

# みんなわになれ

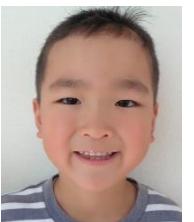
令和4年5月2日(月)  
第15号【R4第1号】  
文責 校長 鮫島 良樹

## 入学おめでとう！

4月28日木曜日、第117回入学式を挙行しました。本年度の入学生は、男子5名、女子4名の合計9名。みんな椎葉中央保育所の卒園生ですから、昨年度までに、小学校へ散歩に来たり現2年生と体育のお勉強をしたりしていた顔馴染みの子供たちです。

とはいっても、新入生の子供たちにとっては、「ピカピカのランドセルを背負って学校に行くこと」は、人生における大冒険の始まり。何をするにしても、ワクワクドキドキで、目をキラキラと輝かせながら元気に活動しているところです。

地域・保護者の皆様、小さな一歩の1年生の成長をどうぞ温かく見守ってくださいますようよろしくお願いいたします。



今号は個人情報になりますので取扱には十分ご留意ください。

## 転入児童・職員です。よろしくお願ひします。



さん  
から  
( さん)



先生  
から



先生  
から

## 年度当初 校長の想い

“つながりを学ぶ、そして、学ぶことを喜びに”の実現を目指す学校  
子供たちには、教科書に書いてあることを学ぶのではなく、教科書に書いてあることを通して「つながり」について学ばせたいと考えています。例えば、「昨日習ったことが、今日の学習に、どうつながっているのか」、「自分の考えや行動が、友達に、どうつながり（影響）を与えたのか」、「この学習は、自分のどんな成長につながっていくのか」など、「問題が解けたから、早い終わり」ではなくて、解くまでの過程や思考の拡がりを大切にしたいと思います。

ただし、1つ補足があります。「つながりを学ぶ」とは、「つながりを大切にしなさい、つながりなさい。」と強要しているわけではありません。つながることの意義、つながっている状況、つながり方などを探ることで、自分はどうつながっていくけばよいのかを思考・判断する力を子供たちに養いたいと考えています。むしろ「自分はこれとはつながらない！」という判断が時には必要であることも、しっかり学ばせるべきだと思っています。無限に広がるつながりの中で、自分はどういう役割を担い、どういうつながりを作っていくのか、自ら創造し、意思決定し、行動していく力が、これから時代に必要な「生き抜く力」だと思います。

また、始業式で子供たちに伝えましたが、『『学ぶ』ことは『成長する』こと。『学ぶ（成長する）』ためには、挑戦や努力が必要であり、『失敗』はつきものである。』を具現化する教育を行っていきたいと考えます。子供たちの「学ぶ」機会は、公平に与えられた権利です。（頭が悪いから…）とか（勉強はほどほどで…）ではなく、学ぶことを通して、自分の思考力・判断力・表現力を磨き、自分を成長させる、そして、それは喜びなのだとということを、子供たちに熱く伝えていきたいと思っています。



御礼

1年生一人一人に、心温まるプレゼントをいただきました。ありがとうございました。

- さん（ファッショニマムラ）より、手作りマスクの寄贈
- さん（しいばモーモー母ちゃん会長）より、耳標型ネームプレートの寄贈